

第 69 回町村議会議長全国大会
鈴木俊一 自由民主党幹事長 祝辞

自由民主党幹事長の鈴木俊一でございます。

本日の「町村議会議長会全国大会」のご盛會を心からお慶び申し上げるとともに、お招きいただいたことに深く感謝申し上げます。

また昨年の衆議院選挙、今夏の参議院選挙におきましては、全国町村議会議長会の皆様に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが党は、この2つの国政選挙において、国民の皆様から厳しい審判をいただき、少数与党となりました。

政治の安定なくして、政策の推進はできません。比較第一党として、各党・各会派と真摯に向き合いながら、新たに連立を組んだ日本維新の会とともに政策の推進を図り、国民の期待に答えてまいりたいと思っています。

まずは経済対策です。昨日、党としての提言を総理に申し入れ、これから本格的な議論に入ります。政府・与党で連携しながら、物価高対策をはじめとする経済対策を速やかに取りまとめ、国民の皆様の実感いただけるよう尽力してまいります。

この経済対策の裏付けとなる補正予算、そして年末に向けて議論を進める来年度予算編成・税制改正においては、物価高などに直面する地方経済の厳しい状況を踏まえ、十分かつ適切な地方財政措置を講じる必要があると認識しています。

引き続き物価上昇を上回る賃金上昇の定着に取り組むとともに、物価高の影響を特に受ける方々に対し、低所得世帯向けの給付金や、重点支援地方交付金の充実など、地方が暮らしの安心を実感できる総合的な経済対応を行いたいと考えています。

特に、重点支援地方交付金については、十分な予算額を確保した上で、地域の実情に応じた機動的な支援が行えるよう、対象事業の拡大等に取り組んでまいります。

また、ガソリンの暫定税率の廃止をはじめ、様々な税制改正の議論の中で不安を感じている方もいらっしゃるかと思います。こうした税制の見直しに際しては、地方財政への影響を十分に配慮し、代替財源の措置など、地方財政への影響が出ることのないよう、責任ある議論に臨んでまいります。

地域の活力は、日本の活力です。自由民主党は、地域に根差した唯一の国民政党

として、様々な声に耳を傾けながら、皆様とともに課題を乗り越え、日本の未来を切り拓いてまいる決意です。

今の暮らしや未来への不安を希望に変えるため、我々一致結束して取り組んでまいりますので、自民党への引き続きのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

令和7年11月12日
自由民主党幹事長 鈴木 俊一